

自治体病院の経営状況（400床規模）

資料1-2

医師の確保により診療科の充実を図り、診療単価をあげていくことが必要と考えている。
また、費用の削減も含めた様々な取り組みも継続して行うことにより医業収支の改善を図っていく。

医療機関名			千葉市立海浜病院	船橋市立医療センター	茅ヶ崎市立病院	小田原市立病院	岡山市立市民病院	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
			2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度
施設情報	2次医療圏人口	人	971,882	1,762,249	721,451	334,656	917,276	739,956
	病床数	床	293	449	401	417	400	434
	診療科目数		27	31	27	31	31	50
	医師数（常勤）	人	68	120	108	112	110	108
	100床当たり医師数	人	23.2	26.7	26.9	26.9	27.5	24.9
収支情報	医業収益	億円	69.5	157.7	99.6	119.4	120.7	149.1
	医業費用	億円	85.6	159.6	110.9	125.8	124.5	157.2
	医業収支	億円	△ 16.1	△ 1.9	△ 11.3	△ 6.4	△ 3.8	△ 8.1
	入院単価	円	71,746	80,350	56,820	66,292	61,554	77,412
患者数	退院患者数	人	7,611	16,495	11,878	13,230	11,195	17,025
	救急車受入件数	件	2,791 (夜急診：2,373含まず)	3,621	4,468	6,083	4,322	4,695
	10歳未満患者数	件	2,347	1,159	808	1,518	365	2,693
手術	脳神経外科（※2）			○			○	○
	心臓血管外科（※3）			○		○		○
機能	救急医療		二次	三次	二次	三次	二次	三次
	周産期医療（※4）		地域	○	地域	地域		総合
	小児医療（※5）		地域	○	地域	地域		中核
	災害拠点		○	○	○	○	○	○

- ※1 総務省の病院事業決算状況・病院経営比較表（平成30年度）、厚労省のH30年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」、厚労省の平成29年度病床機能報告に基づく分析、平成30年度病院情報の公表等から転記
医業収益には救急医療に係る繰入金を含む。（岡山市立市民病院は地方独立行政法人のため、本表では営業収益から運営費負担金相当額を全額控除した額としている。）
- ※2 2018年度退院患者調査において、くも膜下出血、破裂脳動脈瘤、脳梗塞疾患で手術実績のある病院（K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング、K164 頭蓋内血腫除去術、K609 動脈血栓内膜摘出術、K610 動脈形成術等）
- ※3 2018年度退院患者調査において、狭心症、慢性虚血性心疾患、弁膜症患者に対し手術実績のある病院（K552-2 冠動脈、大動脈バイパス移植術、K551 冠動脈形成術、K560 大動脈瘤切除術、K555 弁置換術等）
- ※4 地域：地域周産期母子医療センター / 総合：総合周産期母子医療センター
- ※5 地域：地域小児医療センター / 中核：小児中核病院